

みんなで育てよう、緑豊かな私たちの森！子ども達に贈る自然いっぱいの森

能ヶ谷西緑地だより

2025年11月1日号 236 号 能ヶ谷西緑地・樹の会

【11月の予定】

◆11月8日（土）（雨天翌日）

・南斜面整備

11月22日（土）（雨天翌日）

・公園側入り口付近草刈り

* 9:00 現地集合（9:00～11:30）

◆11月1日（土）（10:00～12:00）

・ヤママユ連・手作りカフェー

平和台集会所

問合せ：伊藤（735-8623）

どなたでも参加自由です。

作業には汚れても良い服装でおいでください。



※※※※※※

緑地だより

※※※※※※

10月12日（日） 曇 参加者 9人

前日土曜日が小雨のため代わりに今日。主な作業は桜広場の草刈り。7月にすっかりきれいに刈ったが、前と同じくらい見事に繁っている。フェンス沿いには、カラムシが50～60cm程になり道路に倒れかかるほど育っていて、茎も結構硬い。しかしその葉は穴だらけで、コガネムシが散々食べたらしい。



キノコがいっぱい

大木の桜の下はシャガのちょっとした群生がある。よく見るとその間にかなり他の植物が生えている。つる性のものもあり、シャガを折らないように取っていく。その間

にも刈払い機での仕事で全体がすっかりきれいになった。これから冬に向かうので、草の伸びる勢いは下がるだろうが、お正月前の整備で、もう1回刈ることにはなるだろう。

作業が終わり、まちカフェの準備計画や、緑地をテーマにした鶴川2小の4年生との関わり方、そしてSさんご指導の正月しめ縄作りの打ち合わせなど、相談事にも時間を費やした。

（宮崎）

【緑地に咲く】キクイモ（菊芋）



北アメリカ原産。初期は飼料用に栽培されたが、血糖値抑制効果が注目され、昨今ではスーパーでも見かける。キクというよりはヒマワリのような鮮やかさ。分類も「キク科ヒマワリ属」。大きな葉や茎には固く細かい毛がビッシリはえている。2週間ほど花瓶に挿してあるが、花は枯れても茎や葉は頑丈そのもの、枯れる気配がない。（上野）

10月27日（月）曇時々晴れ 参加者8名

土日は雨になり、今日の作業となった。久しぶりの動きやすい天気だった。今日の作業は、南斜面の草刈りと梅の剪定を行なった。クズの茎があらこちらに広がっている。フェンスに2重、3重にからみついているのもあって、きれいに取るのに、かなりの力仕事だった。くずの葉の香りは、カメムシがいるかのようで、採らないで、と言ってるようだった。また、梅の枝のどの枝を剪定するか、皆さんの意見が飛び交い賑やかだった。

花広場では、ジンジャーの白い花が、ほのかに香り、白い秋明菊や小菊がさわやかな秋を教えてくれた。又、Iさんが、朝すももの幹にハチの塊を見かけたと言う。それはミツバチの蜂球といって、ハチの分蜂の引越の途中だったようだ。午後からは、町カフェに参加の為、ドングリ班がコマやヤジロベエなどを作った。来て下さった方々が自然に親しんでくれるのを楽しみにしている。（森田）



ジンジャー

！今年も輪飾り作りを行います！

日時 12月21日（日） 10時～12時 （日曜日です、お間違いなく）
場所 能ヶ谷西緑地 中央広場

詳細は来月号に

まちカフェに参加します！

樹の会として、町田市役所で11月29日（土）に開催される「まちカフェ」に初参加する予定です。「まちカフェ」には、福祉・ボランティア・同好会など地域で活動する140を超える団体が出展します。昨年は約1万人が訪れたお祭りだそうです。樹の会としても、西緑地の知名度を上げ、来訪者を増やすと共に作業に参加してくれる人が増えることを期待して参加します。

緑地で取れたどんぐりを使ったコマでの遊び、緑地の草木の手書きの絵の掲示、クイズ、チラシなどを準備してPRしたいと思い、鋭意準備中です。11月29日は、町田市役所3階の通路に展示ブースを設けます。

是非、ご家族、友人とお誘いの上、遊びに来てください。

まちカフェ

11月29日（土）
町田市役所
3階に来てね！

検索⇒「町田のまちカフェ」



『ひろしまのピカ』

丸木俊 小峰書店



今年は広島・長崎に原爆が落とされてから80年。被爆者の方たちは年々減っていて、その記憶を語り継げる人は数えるほどになりました。

原水爆は広島・長崎以降、戦争のために使われてはいませんが、使われる恐れがぬぐえない昨今です。戦争のためには使われていなくても、アメリカでは1946年から58年までにマーシャル諸島ビキニ環礁等で67回の原水爆実験を行いました。フランスでは1966年から96年まで、南太平洋で200回

前後も実験を行っています。その結果、実験場になった島や環礁の中には地球から消え去ったところも少なくありません。しかし、そのことについては、第五福竜丸以外に、余り知らされていないのではないのでしょうか？

原爆がどれほど悲惨なものであるか、私たちは何度も耳にしています。でも、この絵本はみいちゃん一家のできごとをとおして、改めてその恐ろしさや悲しさを見せてくれます。丸木俊さんの原爆の図同様、丸木位里さんの協力を得て作られたこの絵本（1980年第1刷発行）は2015年時点で115刷を数えます。そして、これからも長く読み続けられることでしょう。

（齋藤好子）

【やまゆ連・手作りカフェー】

カラムシ繊維でオーナメント

10月4日（土） 10：00～12：00

平和台集会所

今月の手作りカフェは先月に引続きまちカフェに出すカラムシオーナメント作りでした。

初夏からカラムシを刈り取り、6月、7月と指南役のKさん指導の元、繊維取りを始めました。取った繊維を乾燥させ好みの太さに裂き、2本を撚り合わせて紐にします。

オーナメント作りのためアレンジワイヤーにカラムシの紐を巻き付け形作っていきます。

今回は指導者のSさんがトンボとフラワー作りを教えてくださいました

トンボが大きくなり過ぎオニヤンマ風になったり、お花の形も大きさも個性的な仕上がりになりました。

11月29日開催の町田市まちカフェに今年初めて「樹の会」として参加します。

どんな趣向の展開になるのか今から楽しみです

手作りオーナメントが待ってますので「樹の会」コーナーに皆様是非お立ち寄り下さい。

（藤井）



【緑地の樹】

カリン

プロフィール：バラ科ボケ属（落葉高木）

花広場の奥に立つカリンは、春に可愛い花を咲かせます。緑色っぽいつややかな木肌にピンクの花がよく映えます。そして秋には、ちょっといびつで大きい、黄色い実。これは香りが良く、お風呂に入れたり車の中に置いてかすかな香りを楽しんだり。

この実はそれだけではありません。咳止めなどの薬効もあり、のど飴に使われたりします。ジャムにすると、最初は黄色いのに、砂糖を入れて煮詰めるうちに赤くなるのがちょっと神秘的。ただ、渋みが強く、あく抜きがなかなか難しいのが難点でしょうか。

（小川）



カリンの花と実

